

ウイルスを追え

～感染症アウトブレイクにおける病原体検査の役割～

令和5年

7月22日(土)

14:00～15:30

場所

長崎大学坂本キャンパス(長崎市坂本1-12-4)
高度感染症研究センター本館1階

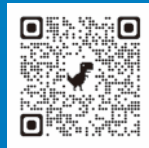
開催方式 会場及びオンライン(ZOOM)

会場参加 要事前申込み 先着30名(中高生優先)

オンライン参加 要事前申込み 先着150枠

申込方法

チラシ・ポスターに掲載のQRコード
又はセンターHPから
HP: <https://www.ccpid.nagasaki-u.ac.jp/>



申込締切

令和5年7月20日(木)17:00(定員になり次第締め切ります)



講師
長崎大学高度感染症研究センター
黒崎 陽平 准教授

北海道大学薬学部卒業、北海道大学大学院薬学研究科博士課程修了。博士(薬学)、薬剤師。警察庁科学警察研究所法科学第一部研究員(技官)、長崎大学熱帯医学研究所助教を経て2020年3月から長崎大学高度感染症研究センター(旧感染症共同研究拠点)バイオリスク管理部門准教授としてBSL-4施設の管理、運営計画の策定を担当している。

講座概要

新型コロナウイルスの流行において、「PCR 検査」という言葉が一般にも広く浸透し、実際に受けられた方もたくさんいらっしゃると思います。PCR 検査は特定の病原体に感染したか否かを診断する方法で、様々な感染症の検査法として応用されています。ところで、PCR 検査ってどんな技術なのでしょう？本講座ではウイルス検査法の基本を解説するとともに、西アフリカで発生したエボラウイルス病の流行時に行った検査法の開発経験を紹介しながら、感染症アウトブレイクにおける検査法の役割についても解説します。



会場：高度感染症研究センター
(テニスコート横の1階玄関から入館)
長崎市坂本1丁目12番4号

お問い合わせ

長崎大学高度感染症
研究センター

〒852-8523 長崎市坂本1丁目12番4号



0120-095-819

TEL: 095-800-4306 FAX: 095-800-4301

H P : <https://www.ccpid.nagasaki-u.ac.jp/>